

紫。元結。二條長四尺

〔延喜式〕伊勢大神宮太神宮裝束

髻結紫絲八條長五尺納柳篔一合方一尺

〔延喜式〕伊勢大神宮荒祭宮裝束

髻結紫絲二條長四尺

度會宮裝束

髻結紫絲四條各三尺長

〔古今和歌集〕十四題之らす

君こすばねやへもいらじこ紫我もとゆひに霜はをくとも

よみひと之らす

〔源氏物語〕桐壺おまへより内侍宣旨うけたまはりつたへて、おとゝまいり給べきめしあればま

いり給、御ろくのもの、うへの命婦とりてたまふ、之ろきおほうちきに、御ぞひとくだり、れいのこ

となり、御さかづきのつゐでに、

いとさなきはつもとゆひにながきよをちぎる心はむすびこめつや、御こゝろはへありてお

どろかせ給ふ、

むすびつる心もふかきもとゆひにこきむらさきの色しあせずば、とそうして、ながはしより

おりて、ぶたうし給ふ、

〔殿曆〕康和五年十二月九日甲寅威徳藤原忠實子忠通殿上略中於出居威徳著裝束略註裝束結髻略註髻

具ハ打亂篔ニ敷檀紙置也付髻紫糸フツ、カニヨリタル三筋

〔類聚雜要抄〕三節雜事一可儲本所物

本結五筋一筋舞一筋紫料、絲